



## 新年のごあいさつ

広島市医師会常任理事 佐々木 達



新年おめでとうございます。

先生方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

当検査センターは昭和36年、広島市中区国泰寺町にあった原爆被爆者福祉センター内に開所し、被爆者健康診断業務を担うとともに医師会員の共同利用施設として発展しました。平成元年に中区千田町、広島大学工学部跡地に建設された広島市総合健康センター内に全機能を移転し、現在の形となって平成最後の今年で31年目を迎えることとなります。検体の集配範囲は広域化し、広島市医師会のみならず安佐、安芸地区（島嶼部を含む）、佐伯地区、大竹市、山県郡の各医師会の先生方に大変お世話になっております。平素の御愛顧ならびに御指導に感謝し、厚く御礼申し上げます。

以前に引き続き、検査の付加価値サービス向上のため「診療支援、経営支援、職場支援」を三つの柱とした会員支援に取り組んでおります。

これまでに計8巻を発刊した「疾患別検査ガイド」については、来たる1月18日(金)、講師として京都府立医科大学 福井道明教授をお招きし、最新刊『糖尿病 2018』の概要説明を兼ねた学術講演会を開催する予定です。多数の先生方の御参加をお待ちいたしております。さらなる診療支援として、患者さんの基本的検査データの解析をもとに診療の標準化をめざすことができる新しい後方診療支援システムの構築を、専門医の先生方の御協力のもと進めてまいります。

また昨年6月には、初めての試みとして近いうちに開業をお考えの先生方への情報提供を目的とした「新規開業セミナー」を開催し好評を得たことで、地域医療に貢献される先生方と信頼関係を作ることの重要性を再認識しました。

一方で検査部門では、高い検査精度の維持管理およびさらなる向上のため、日本医師会をはじめとした各種外部精度管理調査に積極的に参加するなど、日々の努力を怠らずに精進してまいります。

本年もご利用の先生方に安心・信頼をしていただける検査センターを目指し、役職員一同、誠心誠意努めてまいります。何卒お引き立ていただきますよう、宜しく願い申し上げます。